

FFG 調査月報

MONTHLY REPORT

Top Interview

株式会社 QPS研究所 代表取締役社長 CEO 大西 俊輔 氏

ナカヤマ精密 株式会社 代表取締役社長 中山 慎一 氏

松藤グループ 代表 松藤 章喜 氏

あなたのいちばんに。
FFG 福岡フィナンシャルグループ

1.2

2025
VOL.169



今月の

表紙

福岡銀行

飯塚本町支店

今月の表紙になった支店をご紹介します！

私たちが
お答えします！



須堯 かよ (すぎょう・かよ)
2007年入行
(飯塚本町支店2年目)
店頭担当
■趣味: 旅行
■休日の過ごし方: ドライブ、温泉



平野 良 (ひらの・りょう)
2024年入行
(飯塚本町支店1年目)
FC
■趣味: ツーリング、サウナ
■休日の過ごし方: サウナ、温泉

Q

飯塚本町支店の特徴は？

須堯 福岡銀行の前身である十七銀行の飯塚支店としてこの地に移り、2024年6月に築100周年を迎えました。地域の皆さまに支えられ、地域の皆さまや行員の想いがたくさん詰まったこの歴史ある建物で、想いをつないでいます。

平野 地域の皆さまから「この街のシンボル」「これからもこのままあり続けてほしい」と愛着を持っていただいてる店舗です。



100周年記念ポスター



商店街にある支店サイン



100周年記念オブジェ「つなぐ」
(そのだ正治氏作)



100周年記念ツリー

Q

飯塚本町はどんなところ？

須堯 長崎街道の宿場町として栄え、明治には筑豊炭田の中心地としても繁栄しました。昭和感あふれる温かみのある街です。

平野 山に囲まれ街の中心には遠賀川が流れ自然豊かなところですよ。よく福岡のおへそと言われますが、福岡にも北九州にも久留米にもアクセスが良く、新飯塚は本場に住みやすい街大賞2023 in福岡で第3位にもなっています。

Q

飯塚本町の
おすすめスポットは？

平野 支店の近くにあるからくり時計です。旧長崎街道でもある本町商店街にあって、街道の歴史を紹介してくれます。江戸時代には將軍吉宗に象を献上するため二頭の象が街道を歩いたそうです。



Q

支店での地域貢献活動を
教えてください。

平野 飯塚山笠に西流れで参加しました。高校生以来の参加で少々運動不足を感じましたが、商店街の方々と地域の方とも親交を深めることができ、貴重な経験になりました。





Q 今日のお昼ご飯は？

須堯 落ち着いた雰囲気のお店で味わう「じゃらん」の日替わり定食は絶品です！



Q 飯塚本町の名物は？

須堯 味覚焼。60年もの歴史がある飯塚のソウルフードです。



前列中央が武田支店長

読者にメッセージをお願いします。

須堯 これからも、想いは変わらず、地域の皆さまのお役に立てるよう、行員一同、日々精進してまいります。100周年記念のパネルも展示しております。



ぜひ飯塚本町支店へお越しください。
平野 生まれも育ちも飯塚です。飯塚のことは少しは詳しいはずなので、何か気になることがあればお気軽にお尋ねください。
築100年の店舗でお待ちしております！



福岡銀行 飯塚本町支店
住所：福岡県飯塚市本町8-24

懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

牡蠣とフルーツ



▲長崎県営バス井崎バス停(海側はメロン、山側はイチゴ)



九州の「カキ小屋」発祥の地は竹崎カニで有名な佐賀県太良町といわれている。冬場、牡蠣は水温が低くなることでゆつくりと実入りが良くなり濃厚な味になつていく。太良町から小長井町のカキ小屋は、県内外から旬の味を求める多くのファンで大いに賑わい、国道207号線を中心としたこのあたり一帯は「たらカキ焼海道」と呼ばれている。

太良を過ぎ小長井に入ると巨大なスイカ、メロン、イチゴなどが次々に出現する。これは1990年、長崎旅博の開催を記念して町が設置した、5種類のフルーツを模したバス停待合室で、インスタ映えすると人気のスポットになっている。

家族でカキ小屋に訪れた子どもたちの思い出は、有明海のモノクロームな干潟を背景にひとときわ色鮮やかなフルーツバス停の姿とともに記憶されていることだろう。

(文・阿井川 圭)



▲大魚神社の海中鳥居(太良町)

●諫早湾漁協小長井直売店
(カキ小屋併設)

住所：
長崎県諫早市
小長井町
遠竹816-3



FFG調査月報

CONTENTS

1・2

2025 VOL.169

読者アンケートのお願い

今後のより良い誌面作りの参考とさせていただくため、アンケートのご協力を
お願い致します。



<https://prod.qlr.jp/tlmtwdxg>



今月の表紙

福岡銀行 飯塚本町支店

- 2 懐かしい情景を探して
牡蠣とフルーツ



Top Interview

- 4  福岡銀行
株式会社 QPS研究所 代表取締役社長 CEO 大西 俊輔 氏
- 10  熊本銀行
ナカヤマ精密 株式会社 代表取締役社長 中山 慎一 氏
- 16  十八親和銀行
松藤グループ 代表 松藤 章喜 氏



- 22 地域とつながるFFG連携プロジェクト
菊陽町×台湾
「企業ビジネス交流会」・「台湾晚餐会」実施！



- 24 九州企業のサステナビリティ
株式会社 九州バイオテック 代表取締役 有働 隆司 氏



- 28 お城巡り
東海編

- 29 二刀流銀行員
福岡中央銀行 バイオリン奏者 池田 修平



- 32 長崎だより
洋上風力発電に関わる
人材育成の取り組み

バックナンバーの
お知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。





福岡銀行

都市開発から防災、国防まで
役立つ小型SAR衛星を開発。
宇宙ビジネスで九州から世界へ。

株式会社 QPS 研究所 大西 俊輔 氏

キューピーエスけんきゅうしよ

代表取締役社長 CEO
おおにし しゅん すけ

取引店／福岡銀行 本店営業部
(FFGベンチャービジネスパートナーズ投資先)

■会社概要

設立:2005年／所在地:福岡市中央区／資本金:19億3,900万円／従業員:61名／事業内容:人工衛星、人工衛星搭載機器、精密機器、電子機器、地上設備、ソフトウェア及び情報通信ネットワークの研究開発、設計、製造、販売、運用、管理及び保守/人工衛星等が取得したデータに関する事業/人工衛星等を利用したサービスの提供/宇宙技術に関する研究会、講習会及びセミナー等の企画、運営/前各号に関する技術コンサルティング、運用支援、受託、開発指導、講演、教育及び執筆に関する事業/上記各号に付帯する一切の業務

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





QPS研究所事務所前(左から大西社長、五島頭取)

九大での小型衛星開発から 発展した会社

当社は九州大学名誉教授の八坂哲雄と桜井晃、三菱重工株式会社さくらいあきらのロケット開発者であった船越国弘ふなしげくにひろによって2005年に設立されました。創業者の一人である八坂は九州大学で学生と地元の企業による小型衛星プロジェクトを進めていました。退任後もその活動をサポートし、九州に宇宙産業を根付かせたいという想いからQPS研究所は誕生したのです。九州大学での20年以上におよぶ小型衛星の研究・開発が生んだ知見をベースとして、当社の技術開発はおこなわれています。社名のQPSは、「Q-Shu Pioneers of Space」、九州における宇宙の先駆者を意味しています。

私自身は、2013年に当社(当時は有有限会社)へ主任研究員として入社しました。入社前は九州大学大学院で航空宇宙工学を専攻し、九州の大学や企業が集まった小型衛星開発プロジェクトに参加して学生プロジェクトリーダーを務めました。九州の宇宙産業を発展させたいという創業者の想いを引き継ぎたく当社の一員となり、2014年4月より代表取締役に就任して現在に至っています。

36機の小型SAR衛星が可能にする 高頻度の観測データ

さて、現在の当社のビジネスの主軸となっているのは小型のSAR(Synthetic Aperture Radar)合成開口レーダー衛星、「QPS-SAR」による観測データの販売です。光学衛星が、一般的なデジタルカメラと同様に、太陽を光源としてカメラで地表の写真を撮って観測するのに対し、SAR衛星の場合、宇宙から地上に向けて電波を照射し、地表からの反射波を受信して地表の形状や性質に関するデータを取得します。つまり、光学衛星では、夜間や地表が雲に覆われた天候では観測が難しいのですが、SAR衛星は観測に光を必要とせず、雲を透過する電波を用いるため、天候や昼夜にかかわらず衛星が上空にあれば24時間いつでも観測できるという大きな利点があります。しかも、「QPS-SAR」は従来のSAR衛星の1/20の質量、1/100のコストであるにもかかわらず、地上約46センチメートル四方の情報を認識できるという高分解能での観測が可能です。

最終的にはこの衛星を36機打上げて、世界中のほぼどこでも特定の地域を平均約10分ごとに観測することを目指しています。私たちはこれを「準リアルタイム観測」と呼んでいます。





大西社長

当社では来年度には12機体制を構築予定で、2028年5月末までに24機体制を目指しています。

多様な分野に貢献できる 衛星データの有用性

次に、当社の小型SAR衛星による観測画像の有用性について、より具体的にご紹介したいと思います。

まず、インフラ管理の事例ですが、当社は九州電力との連携で、2021年に宮崎県にある九州最大の水力発電所を対象として衛星データによる設備および周辺環境の管理について検証を実施。発電設備および周辺の巡視点検、

放流時の河川周辺の確認は、これまで人による巡回しながらの目視が中心でしたが、災害時の被害状況の把握も含めて、発電所管理業務に衛星データを活用し、高度化・効率化できるかを検証しました。

次に、船舶運航支援。2022年8月、高精度な海水情報を活用した船舶運航を支援するサービス創出に向け、ウェザーニューズ、九電ビジネスソリューションズ（現QSO）、九州電力と当社の4社で共同実証を開始しました。海水のある海域や港における船舶の運航では、海水との衝突による海難事故、航路変更に伴う到着遅延などのリスクがあるため、より高精度で即時の海水情報が必要とされています。4社間の連携により、衛星観測データをAIで分析して海水情報をマッピングし、現地の実際の状況や既存のサービスと比較して、海水情報の精度や有用性を検証しました。このケースは、AIと衛星観測データを組み合わせた世界初の取り組みとなりました。

そして、災害対応。2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」の対応として、当社の小型SAR衛星で能登半島エリアを観測し、国の行政機関や報道機関等に画像を提供しました。詳細な地表データは災害復興の一助となるものとして期待されています。また、



11 9



7



8



CiQPS



CiQPS

- 1.対談風景／2.小型SAR衛星の観測画像の説明／3.4.世界各地の観測画像が貼られたパネルを見学／5.QPS研究所の社史ボードを見ながら談笑／6.上場通知書の前で記念撮影／7.創業者の九州大学名誉教授 八坂哲雄氏と大西社長／8.今年度稼働を開始した新拠点／9.小型SAR衛星イメージ／10.小型SAR衛星で観測した博多駅／11.企業メッセージ



前列左から、松本取締役、大西社長、五島頭取、山本本店営業部長(福岡銀行)

2024年9月9日、台風11号により、ベトナムのフート省でフォンチャウ橋崩落事故が発生しましたが、この時も被害状況確認を可能にする衛星画像を提供しました。

この他にも、当社はあらゆる業界と衛星データを有効活用できるビジネスについて話し合いを続けています。電力・鉄道・建設等のインフラ管理、海洋監視、森林監視、安全保障、防災・減災、都市開発、保険、物流効率化、地図データ・自動運転向け高精度3Dマップ、投資家向けの衛星データ解析、さらには、生活や仕事に必要な情報を大勢がサービスとして受け取れるスマホ向けアプリなど、衛星データの有用性と将来性への期待度はますます高まっているといえます。

パートナー企業と試行錯誤して 高い障壁を乗り越えた

当社の「QPS-SAR」ですが、高精細な観測と低コストを両立させる小型SAR衛星を製造できる会社は世界的に見ても数社しかありません。大きなアンテナと多量の電力を必要とするためSAR衛星は小型化が難しいとされています。「QPS-SAR」は、小型衛星にも搭載できる収納可能な直径3.6メートルもの大型

パラボラアンテナを開発することで、SAR衛星の小型化・軽量化に成功しました。

当社がこの高難度の開発を乗り越えられた大きな理由は、北部九州地域企業を中心とする全国25社以上の企業との協働があったからだと思います。バネ専門メーカーや縫製、部品加工、電気系統などにおける設計・製作・製造のスペシャリスト集団である地場のものづくり企業との創業当時から20年以上の長きにわたってともに開発してきた経験が、私たちのスピーディーな衛星開発を支えているのです。これまでは国、官公庁が主導してきた宇宙産業ですが、北部九州では、民間企業どうしの「連帯感」と、お互いすぐに往き来できる「地の利」が私たちの優位性を高めているのに加えて、「九州に宇宙産業を根付かせたい」「世界と戦えるモノを九州から生み出す」という、明確で強い熱意の共有が現場の原動力となつて、開発を後押ししているように感じます。

政府は宇宙基本計画で掲げている2020年に4兆円となつている国内の宇宙関連市場を2030年代の早い時期に8兆円へ倍増させることを目標にしている、これに伴ってこれまでの「官主導」から「官民連携」への変革が起つていきます。私たちは「九州から日本を宇宙イノベーションの創生地にする」「衛星を通じて、

人類を不安から解放し、日々の暮らしを支える」というビジョンをあらためて胸に刻み、活動を進めていきます。

次世代に興味をもってもらい 宇宙産業の未来を託していきたい

当社創業者たちの意志を受け継いで、私たちは九州発の宇宙ビジネスをより実りあるものに育てるべく活動に励んでいます。それと同時に、地域の宇宙産業を盛り上げるには、次世代を担う人たちを育てていく活動も重要だと考えています。

具体的には、子供たちに宇宙産業に興味をもってもらうために、学校講演会、コラボワークショップや展示などの教育イベントを積極的に開催したり参加したりしています。実は、私も子供の頃に参加したペットボトルロケット作りのイベントで胸を躍らせた体験があり、それが今の自分を形成するきっかけの一つとなりました。何気なく参加したイベントで思わず目を輝かせ、わくわくするような夢を抱く子が一人でも多く出てきてくれたら、と期待しながら、これからも宇宙産業の魅力を発信してまいります。

■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 五島 久

九州大学発のスタートアップとして創業した当社は、「九州に宇宙産業を根付かせたい」という創業時の想いを引き継ぎ今に至っています。九州における宇宙の先駆者を意味する「Q-Shu Pioneers of Space」という社名からもその熱い想いが伝わります。

ビジネスの主軸である小型SAR衛星「QPS-SAR」は、天候に関わらず24時間「準リアルタイム観測」を実現し、インフラ管理や災害復興など幅広い分野への貢献が期待されています。子供の頃のペットボトルロケットづくりから始まった大西社長の夢は、九州発の宇宙イノベーションへと、まだまだ拡がり続けます。





 熊本銀行

さらなる発展が期待される半導体業界
あらゆる要望に応える
確かな技術で挑戦し続ける。

ナカヤマ精密^{せいみつ}株式会社

代表取締役社長
なかやま しんいち
中山 慎一 氏

取引店／熊本銀行 本店営業部

■会社概要

設立:1969年／所在地:(本社)大阪市淀川区／
資本金:9,600万円／従業員:223名／事業内容:
超硬合金を主とする耐磨耗精密工具類の設計・
製造販売／事業所:横浜営業所、名古屋営業所、
熊本工場、テクニカルセンター

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





テクニカルセンター前(左から中山社長、坂本頭取)

両親の故郷である熊本に 念願の工場を建設

両親ともに熊本の出身です。両親が30歳の頃に大阪に出て、1969年6月に「ナカヤマ精密株式会社」の前身である「中山精密工具株式会社」を設立しています。同年11月に吹田市に本社および工場を移転するなど、少しずつ業績を伸ばしていましたが、まだ従業員数が10〜15名ほどの会社でした。

大阪で頑張っていた両親ですが、実はずっと「いつか、生まれ育った熊本に工場を建てたい」という思いがありました。ようやく1984年に、念願だった工場を熊本県西原村に建設。その頃は全国的に半導体メーカーが次々と誕生していた時期で、熊本もテクノポリス計画を打ち出し、企業誘致に積極的に動いていました。

西原村は今でこそ鳥子工業団地とりこなどが広がり熊本テクノポリス計画の中心的存在ですが、まだその頃のはのかな風景が広がるようなところで、金型・半導体関係精密部品を製造する工場の設立は画期的でした。

製薬会社のMRから転身 半導体不況で熊本工場に一本化

私はその当時大学生で、両親の事業を継ぐ気は全くなく薬学部に通っていました。卒業後は製薬会社で営業担当、いわゆるMRだったのですが、若い頃は口下手で「この仕事に向いていない」とつくづく感じる毎日を過ごしていました。そのうちに工場も従業員が40名以上と、順調に事業拡大しており「跡を継ぐのも良いのではないか」と考えるようになったのです。両親からはずっと「好きなことをしてい」と言われていたものの、自分が実は「ものづくりが好き」ということを感じ始め、両親の事業を手伝うことになりました。

入社したのは1987年11月、27歳の時です。入社後は製造から生産管理、営業とひと通り経験し、1994年、34歳の時に熊本に赴任しています。しかし、その後日本全体が半導体不況に陥ります。その頃、大阪と熊本に工場があったのですが、この不況によって業績が悪化。そこで大阪は本社機能だけを残し、工場は熊本に一本化することになったのです。



5



3 1



6



4 2





中山社長

デジタル・IT需要で過去最高益 TSMC進出でさらなる期待

おかげさまで2001年には熊本工場を拡張、翌年には第2工場増設、2013年には

大阪工場の従業員には、熊本工場への転勤を含め面談を重ねたのですが、結果的には35名をリストラするという苦渋の決断となりました。その時に思ったのが、「従業員を辞めさせない経営をしていく」ということ。その後のリーマンショックでも1人も辞めさせることなく、「リストラはあくまでも最終手段である」とずっと肝に銘じてきました。

熊本県菊陽町にはテクニカルセンターを増設するなど、順調に事業拡大を続けています。2018年、2023年には、テクニカルセンター第2、第3と新棟も建設しました。

ご存じの通り、いま熊本県菊池郡菊陽町は台湾の半導体メーカーTSMCの子会社であるJASMCの進出によって、この町一帯が新工場建設ラッシュに沸いています。半導体業界そのものはコロナ禍のデジタル・IT化の急激な進展とともに、需要が大きく伸びました。当社も2022年に過去最高の収益を上げています。2023年はその反動でやや冷え込みましたが、今後5年、10年は確実に伸びていくだろうと予測しています。

原点である「ものづくり」を大切に 新分野にも積極的に進出

1980年代には半導体の隆盛を極めていた日本ですが、その後は中国や台湾などのアジア地域の製造に大きく引き離されてきます。その結果、国内での製造が激減し、ものづくりが衰退したことで、日本の国際競争力そのものが落ち込んでいきました。そのような



11 9



1.対談風景／2.テクニカルセンターの名所の桜の木を見ながら散歩／3.4.5.テクニカルセンター内を見学／6.加工技術を使った見本／7.顕微鏡でナノレベルの加工技術を確認／8.放電加工機／9.フェムト秒(1,000兆分の1秒)レーザーの部屋を見学／10.オフィス内を見学／11.企業メッセージ





前列左2人目から坂田工場長、中山社長、坂本頭取、^{ひんもつ} 敏持本店営業部長（熊本銀行）

中であっても、私たちは「この技術を途切れさせてはいけない」と実直にものづくりを続けてきました。

現在好調なのはテレビやパソコン、プロジェクター、車載用機器の半導体LED、スマートフォンやデジタルカメラのイメージセンサーと呼ばれる半導体などです。これらの半導体には微細加工技術が必要であり、「他社ではなかなか難しいことであっても当社であればやる」という確かな技術が私たちの強みになっています。

その原点と言えるのが、手作業によるものづくりです。当社では「技術道場」と題し、新入社員の導入教育として、ヤスリー本で磨き上げるという研修を行っています。これは、ものづくりの原点を学ぶと同時に、コツコツと仕上げる者は製造向き、先輩社員とうまくコミュニケーションをとりながら仕上げようとする者は営業向きなど、新入社員の適性を見極めることにも役立っています。

また、ここ10年はこれまで培った技術をもとに、部品加工だけではなく装置設計、装置組立にも取り組んでいます。さらに、医療機器などの新しい分野にも挑戦するなど、一つの分野が

不況に陥ったとしても他分野が支えられるような体制づくりを進めています。

100年企業を目指し 次世代へバトンを渡す

日本の企業は、まずはここに暮らす人々が安心して働ける環境をつくらなければならな
いと思っています。だからこそ従業員には「愛
社精神」を持って働いてほしい。今どきの感覚
とは違うのかもしれませんが、従業員を大切
に育て、終身雇用できる会社でありたいと思っ
ています。

また、これまで新入社員は短大や大学の新
卒がほとんどでしたが、最近は「故郷である熊
本に戻って働きたい」という中途入社が増えて
います。他社を経験したからこそ、当社の良さ
を感じて非常に頑張ってくれています。天草の
マリナにあるクルーザーでのバーベキュー大
会やヘリコプターでの遊覧体験など、若い人た
ちが楽しめる福利厚生も用意しています。

ただし私自身は、あと3年ほどで代表の座
を現在専務を務めている息子に託したいと
思っています。当社は2024年6月で創業

55周年を迎えました。専務には3代目として
「100年企業」を目指して頑張ってもらいた
と思っています。

私自身は、グループ会社である「西日本航
空機サービス」の事業に力を入れていければと
考えています。「西日本航空機サービス」は、
熊本県内を中心に九州地域を結び、ヘリコプ
ターや小型航空機で輸送する「空のタクシー」
を目指しています。この事業では、菊陽町に集
中している各企業のビジネスユースはもちろん、
インバウンドの訪日客向けも見込んでいま
す。

熊本はコロナ禍後、インバウンドをはじめ観
光需要が伸びています。県内の宿泊施設でも
瀬の本高原ホテル（南小国町）や、ホテルグ
リーンピア南阿蘇（南阿蘇村）、セキアヒルズ
（南関町）、ホテルアレグリアガーデンズ天草
（天草市）、フィッシャリーナ天草（上天草市）
などの宿泊施設やマリナと提携し、熊本空
港からお客さまを施設まで送迎できるよう仕
組みづくりを進めています。他県へのアクセ
スもヘリコプターがあれば容易になります。こ
れらの事業も今後はニーズが高まると期待して
います。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 坂本 俊宏



大阪が本社でありながら、先代の故郷である熊本に工場を展開する「ナカヤマ精密株式会社」。TSMC進出で注目を集める熊本県菊陽町、そして西原村で、金型・半導体関係の精密部品メーカーとして続々と工場を増設され、地元の発展に貢献されています。

超微細な精密金属加工を得意とされ、様々な分野に対応できる高精度の加工技術力が当社の強みだと思います。世界に通用する技術力に磨きをかけ、ますます発展されていくと確信しております。



トップに聞く!

十八親和銀行

石油製品輸送で九州トップシェア。
多角的事業展開のグループ力で
地域社会の未来を拓く。

松藤グループ

代表
松藤 章喜氏

取引店／十八親和銀行 本店営業部

■会社概要

創業:1943年／設立:1950年／所在地:長崎県長崎市／資本金:3億5,000万円(グループ総計)／従業員:1,250名(グループ総計)／事業内容:タンクローリーによる石油製品・LPG・化学工業素材の輸送事業、トラックによる生鮮食品等の輸送事業、内航タンカーによる石油製品の海上輸送事業、油槽所運営・管理事業、防災事業、ホテル事業、ディーラー事業、保険事業、賃貸不動産事業、リース業／グループ会社:松藤商事株式会社、株式会社エムエスケイ、壱岐油槽株式会社、株式会社グラバーヒル、株式会社MATSUFUJI 他

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





ヒルトン長崎前(左から松藤社長、山川頭取)

戦時中に創業し 戦後復興とともに躍進

松藤グループは、社会インフラを支える石油製品の陸上輸送事業を手がける「松藤商事」を中核として、同じく石油製品の海上輸送事業、BMWやMINIの長崎県下の正規ディーラーである輸入車販売事業、「ヒルトン長崎」「ANAクラウンプラザホテル長崎グラーバル」の運営をおこなうホテル事業、さらには賃貸不動産事業、リース事業など全13社でグループを形成しています。

グループの原点は、私の祖父である松藤^{わたなべ}が1943年に長崎で始めた海運業です。鎖国政策がとられていた江戸時代より国際貿易都市として発展していた長崎は、明治維新後も中国にもっとも近い拠点港としてにぎわい、昭和に入つては軍備増強などが進んだことで造船業が盛んになった歴史があります。戦時中に創業した祖父は、石炭に代わって石油がわが国のエネルギー源の主流になるであろうことを予見して、石油輸送専門業者としての道を開拓していきました。1950年には松藤商事合資会社を設立、陸運事業にも進出します。

創業当時は従業員が20〜30人程度で、会社といっても家族のような雰囲気組織であったようです。皆の先頭に立って日々の仕事に没頭する祖父を支えるように、祖母も従業員の食事作りから運搬の仕事の手伝いまでこなして頑張っていたようです。私が子供だった頃、従業員が正月などに祖父の家に集まっていたので、よく目にしました。

その後、日本の高度経済成長期に乗じて、松藤グループは陸上輸送事業でエリアを拡大しながら、海陸一貫輸送システムを確立していきました。

堅実経営で不況を乗り切り 事業の多角化を推進

1977年には、松藤グループの営業部門として福岡営業部が福岡市中央区薬院に新築・移転し、当グループの新本社ビルが現在地に完成しました。そしてこの頃から、陸運部門の拡大、海運部門でのタンカー竣工と並んで、ホテル事業、保険・不動産・リース事業、カーディーラー事業などがスタートし、経営の多角化が進んでいきました。





松藤社長

その一方で、世の中が好景気に湧いた「バブル経済」の時期に、当グループは投機には走らず堅実経営に努めたことで、バブル崩壊後の長期不況にも安定した事業運営を続けることができました。

2000年代に入ると、グループ経営をより推し進め、経営の効率化を図ります。その結果、事業の中核である石油製品の輸送事業において九州でトップシェアの地位を確立できました。

さらに主力事業の海陸輸送事業に加えて、カーディーラー事業、ホテル事業を本格化。2020年8月には創立70周年を迎え、コロナ禍で観光業界全体が痛手を受けるなかではありましたが、2021年11月にグループ2軒目となる外資系ホテル「ヒルトン長崎」の開業に踏み切りました。観光および文化の面から

長崎へ貢献できる大きな一歩であったと思います。

先代が遺した言葉 「身の程を知れ」

ここで私自身の話をしますと、長崎市で生まれた私は大学進学で上京し、卒業後に銀行へ就職しました。その後、渡米してミシガン州立大学経営学部大学院でMBA（経営学修士）を取得し、帰国後はシステム関連のベンチャー企業で働きました。この大学進学以降の数年間を振り返ると、外から長崎を見るという貴重な期間であったと思っています。長崎の魅力に対する思いが段々と増していったことをよく覚えています。そうした時期に、二代目社長を務めていた父（松藤悟）に今後の進路を相談したところ、「長崎に帰ってきたらどうか」と言われました。その言葉に背中を押され、32歳の時に長崎に戻り、松藤グループの資産管理会社である株式会社エムエスケイに入社しました。

その当時は、次期社長を目指すなどという気持ちはなく、それまでの人生で得た知識や経験を松藤グループの事業運営に活かす、あるいは



11 9



7



10



8

1.対談風景／2.ヒルトン長崎1階ロビー／3.プレジデンシャルスイートを見学。壁のモニュメントは出島の形、ベッドサイドのランプは“ビードロ”と長崎らしい雰囲気演出／4.プレジデンシャルスイートバスルーム／5.日本料理「瓊鶴海」。店名は、玉のように美しい海と鶴の港と称された長崎港から着想（松藤社長談）／6.日本料理「瓊鶴海」では世界のワインが揃う／7.チャイニーズレストラン「福海楼」。照明は波佐見焼で彩られている／8.チャペルにて記念撮影。優しく柔らかな印象のアールのかかった天井が特徴的／9.油タンカー「第二十松丸」（石油海上輸送業）／10.約550台を所有するタンクローリー（陸上輸送事業）／11.企業メッセージ



エントランス階段にて。最前列左から鈴木総支配人、松藤社長、山川頭取、三浦本店営業部長（十八親和銀行）

従業員が熱意をもって働ける環境づくりに貢献する、といった気概で溢れていました。二代目社長はグループの経営多角化を推し進めた立役者で、長崎商工会議所会頭も務めて忙しい身でしたが、現場の問題点を吸い上げて改善をしたいと躍起になっていた私は、落ちていて話をする時間もない父をつかまえては意見を交わし合っていました。

そんな日々を繰り返しながらさまざまな課題解決に注力していた矢先の2011年に先代が急逝し、私が経営を引き継ぐことになりました。東日本大震災の年で経済が急激に落ち込んだ時期でしたが、グループ企業の再編に取り組みと同時に、グループ内シナジー効果の強化、経営の合理化、人材育成と組織づくり、コンプライアンス、SDGsなどにも次々と着手していきました。

故郷のために観光や文化の面から貢献したいとチャレンジした「ヒルトン長崎」の開業では、世界的なブランドを引き受ける重圧に葛藤した時期もありましたが、先代が残した言葉『身の程を知れ』に背中を押してもらったように思っています。先代がよく口にしていたこの言葉は、「自分の身の丈に合わない、大きなものに挑むのであれば、覚悟を決め努力をして、

自分から合わせられるようにしなくてはいけない」という意味を含んでいます。

悲観的に準備して

楽観的に事にあたる

経営において意思決定し、事業を進めていくうえで、私にとつて大事な言葉がもうひとつあります。「楽観的に構想し、悲観的に準備をし、楽観的に事にあたる」。とりわけ、「悲観的」とさえ言えるほど、細心の注意を払って緻密に準備をする姿勢が、良い仕事をするために大事だと考えています。

この気づきを得たのは、銀行員時代です。システム部門で銀行の送金システムの更新に携わった時の出来事がきっかけでした。私はこのプロジェクトを引き継いだばかりで、知識や経験が十分ではありませんでした。私とチームを組んだ上司も同じ状況で、入念な準備を重ねて慎重に取りかからねばならないところでしたが、上司にある作業の提案をすると「そこまでやる必要はないよ」と言われました。当時の私は指示に従ったのですが、今思えば、まだ若手だった私の負担を気遣つての返事だったのだと思うが、それが裏目に出てしまいました。更新する

はずのシステムが止まりかねない事態に陥ったのです。更新前のシステムをバックアップしていたため、何とか最悪の事態を回避できましたが、ありとあらゆる状況を想定して、トラブルを引き起こす要因を徹底的に潰しておく周到さの重要性を思い知らされた一件でした。

長崎の魅力発信に貢献できる

100年企業へ

創業者が「石油の時代」を予感して始めた石油輸送事業は化学薬品輸送等に拡大発展を遂げました。これからは水素の輸送など新エネルギー時代へ向けた取組みを進めてまいります。

あいにくコロナ禍でのスタートとなった「ビルトン長崎」と「ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル」は、長崎の観光産業に貢献できる拠点と位置づけ、「長崎らしいおもてなし」を打ち出す新サービスを従業員と一丸となつて準備中です。

仲間を大切に、周りの人の幸せを願い、仕事にひとつひとつ丁寧に取り組む努力を続ける活動を通じて、地域社会になくてはならない存在、100周年にふさわしい貢献ができる存在を目指して、企業価値の向上に努めてまいります。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦



焼け跡となった長崎で石油輸送事業からその礎を築き、多角経営への挑戦を経て全13社から成る総合企業グループに成長された松藤グループ。

長崎の経済を支えるばかりでなく、環境配慮型のショールーム設置など、SDGsが世間で叫ばれる以前から環境保全活動に注力しておられます。また「V・ファーレン長崎」「長崎ヴェルカ」のオフィシャルパートナーとしてスポーツ振興や、「松藤奨学育成基金」を設立して交通遺児や経済的に進学困難な学生の支援を行うなど、数多くの地域貢献活動に取り組まれてこられました。

創立100周年を目指す次なるステップアップを通じて、松藤グループの益々の発展とともに、地域の発展により一層寄与されることを期待しています。

地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、
観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。
今回は、熊本県内企業と台湾企業のビジネスマッチングの取組みについてご紹介いたします。



菊陽町×台湾 「企業ビジネス交流会」・「台湾晚餐会」実施！

熊本県菊陽町は、昔から農産業を基幹とした町で、人参の生産量は九州トップクラスを誇ります。また、台湾の半導体大手TSMCの進出により、国内のみならず世界中から注目を集めています。さらに、TSMC第2工場の着工が始まったことで、台湾企業を中心に国内外の半導体関連企業の多くが熊本県に進出してきています。同時に県内企業においても台湾でのビジネス拡大への機運が高まっており、相互のニーズ把握のため県内企業と台湾企業のマッチングの機会が求められていました。

そこで、2024年11月15日に県内企業と台湾企業の交流の機会創出に向けた「企業ビジネス交流会（以下、交流会）」および「台湾晚餐会（以下、晚餐会）」が、一般社団法人九州台湾商会主催のもと実施されました。熊本銀行は、本取組みに後援企業として参画し、熊本銀行菊陽支店が旗振り役となつて、県内企業の募集を行いました。

交流会では、食品業界を中心に台湾企業12社、県内企業11社が参加。日本の食品を現地で展開したい等のニーズがある台湾企業と、台湾への輸出を検討している熊本銀行のお取引先に商談の機会を提供しました。交流会後に行われた晚餐会では、台湾飲食業界で有名な御嶺國際から招いた一流シェフによる本場の台湾料理を堪能しながら、台湾企業と県内企業約160名が交流を深めました。



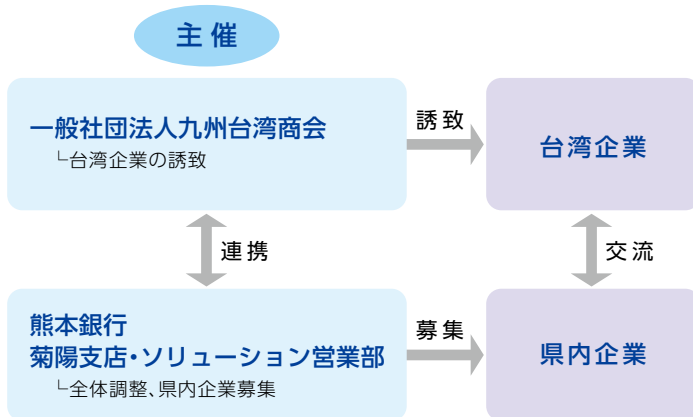
交流会会場



交流会の様子



■本事業のスキーム図



参加した企業からは、「今回の商談をきっかけに新しいビジネスに繋がりそうであり、大変有意義な会でした」とのお声を複数頂くことができました。

熊本銀行では、これまでも地域産品のブランド価値向上、販路拡大の取組みとして、「グルメフェア」や「物産展」を開催してきましたが、今後半導体関連企業の誘致や町の産業振興等まちづくりに関する様々な取組みをFFG一体となって支援していきます。



多くの人で賑わう晩餐会



菊陽町関係者と台湾関係者乾杯の様子



熊本銀行
ソリューション営業部
左から 大畑、西田、西山
菊陽支店
園田

【お問い合わせ】096-385-1280

FFGは地域が抱える課題解決や
地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

 bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- 産業振興
- 教育文化芸術
- まちづくり
- エネルギー
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社九州バイオテック
有働隆司氏

代表取締役

取引店／熊本銀行 大牟田支店

木材資源の有効活用を通じ、
社会・時代・世界の要請に応える企業として、持続可能な社会の実現を目指す

木造建築物の解体材や
伐採木をウッドチップに加工

当社は福岡県大牟田市を拠点に、木質系専門の産業廃棄物処理事業を営んでいます。ここ大牟田市内はもとより福岡県内、また九州内の近隣県から、木造建築物の解体材や、造成工事等に伴う伐採木、時には災害などに伴って廃棄される木質材を自治体の要請により受け入れ、分別しながらウッドチップに細かく粉碎処理し、その

ほとんどを当社が近隣の企業と共同で運営している木質バイオマス発電所に、燃料として提供しています。また、九州各地のプレカット工場や製材所から端材を受け入れ、選別・加工した後に販売・輸出も行っています。当社は2010年に父・有働憲輔が設立し、2022年に父の後継として長男の私が代表取締役に、次男の有働博司が専務取締役に、三男の有働将司が統括工場長に就任し、兄弟3人が中心となって当社を営んでいます。

古紙回収会社から
原料の木に着目し独立

当社の前身は1979年、私の祖父である有働義弘が大牟田市内で設立した古紙回収業の「有限会社有働資源」です。有働資源の設立以降、日本の経済成長とともに事業は拡大を続けて



対談の様子(左から有働隆司社長、吉田前支店長(熊本銀行、現 鏡支店長))



粉碎破砕機とショベルカー。粉碎破砕機は十数台保有する

いましたが、近年のIT化やペーパーレス化が進んだ影響で、国内の紙の使用量は2008年をピークに減少し始めていました。同社の専務であった私の父・憲輔は、紙の原料である木に着目し、木質系の廃棄物の処理、バイオマス燃料・畜産敷料の製造販売を目的として、2010年に当社を設立したのです。設立以降、ドイツのメー

資源の地域循環に寄与

カー製の粉碎破砕機を十数台、磁力選別機等の大型機械類を導入し、敷地とともに規模を拡大しており、現在では年間で約75,000トン分の木質材を処理し、約60,000トン分のウッドチップを製造しています。

当社の事業は、回収や持ち込まれた木質系廃棄物をウッドチップ化し、木質バイオマス発電所の燃料として利用される他、粉碎処理時に排出される釘やボルトなどの金属類も専門業者に渡すなど、余すところなく資源化しており、地域を循環していることが特徴です。粉碎処理の際にどうしても舞ってしまう木の粉は、溜めておいた雨水をシャワーのように撒くことで近隣に迷惑を掛けないようにしています。今後は粉碎処理機を電動化するなどして、さらなる省電力化や騒音防止に役立てる予定です。

近隣の企業で共同運営する バイオマス発電所

大牟田市に隣接する熊本県荒尾市の荒尾産業団地内に、地域企業と共同で運営する木質



共同運営する荒尾バイオマス発電所

バイオマス発電所「荒尾バイオマス発電所」「荒尾第二バイオマス発電所」があります。当社が生産したウッドチップは、この発電所に1日16回大型トラックで持ち込まれ、2基の発電用タービンの動力源として燃焼されています。この発電所から年間約8,800キロワット、一般家庭の約24,000世帯分相当の発電を行い、全量を

外部に売電しています。当社は近隣の企業と協力して、ここ大牟田近郊で生まれ育った森林資源をクリーンな電気エネルギーに変え、電気を販売し、山に新たな雇用と収益を生む仕組みを作ること、地域を活性化させる取り組みを実践しています。

SSI indexの受検と 〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ ファイナンスの利用

2022年8月に熊本銀行大牟田支店から、Sustainable Scale Indexと〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンスの提案を受けました。当社は前述のとおり、回収した木質系廃棄物を余すことなくリサイクルする事業を核にしていることから、サステナビリティの取り組みには自負があります。ただそうした取り組みを外部に公表して認知してもらうところまでは進んでいなかったため、両サービスともに受けてみることにしたのです。

〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンスでは9項目ものKPIを設定しましたが、うち1項目は災害時の自治体との連携協定締結に関するものです。2024年1月に能登地方を襲った

地震や、その後の水害によつて多くのがれきが発生し、そのがれきの処理が進まないことが復旧・復興を阻害する要因ともなっています。そうしたがれきの受け入れを行うための協定であり、当社だけの行動だけでは実現は困難であることから、熊本銀行や、ふくおかフィナンシャルグループの協力を得ながら、KPI達成に向けて全力で取り組む方針です。

当社の事業はすべて、木材のリサイクルという環境面での取り組みにつながっていますが、社会面、つまり社員の健康促進、労働安全、働きやすい職場づくり等にも積極的に取り組んでいます。こうした取り組みを今後も継続し、持続可能な社会の実現につなげたいと考えています。



3兄弟で事業を運営(左から有働将司統括工場長、有働隆司社長、有働博司専務)



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈（左から有働隆司社長、吉田前支店長）

株式会社 九州バイオテック

- 本社所在地：〒836-0067 福岡県大牟田市四山町14-5
- 電話番号：0944-59-6622
- 事業内容：バイオマス発電向け燃料チップ製造、堆肥原料加工、プレカット端材・製材端材等の集荷および海外向け輸出加工
- グループ企業：株式会社有明グリーンエネルギー、株式会社ウッドフィールド



FFG公式YouTubeチャンネルでは同社の有働隆司社長にインタビューしています。こちらをご覧ください。



FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください

日本100名城
No.44



①

煌びやかさNo.1

名古屋城

【住所】愛知県
名古屋市中区
本丸1-1
【電話】052-231-1700



②

2019年11月登城。手前の本丸御殿は前年復元されたばかり(写真①)。城郭御殿の最高傑作として「国宝第一号」に指定。天守の鯨は有名であるが、天下普請(城郭などを大名に命じて作らせた)で築城された当時の内装も忠実に復元されて素晴らしい(写真②)。

①②写真提供: 名古屋城総合事務所



名古屋城HP

お城巡りが趣味の中野支店長が実際に行った日本全国のお城を紹介

Vol.5 東海編

お城巡り



「日本100名城」は公益財団法人 日本城郭協会が2006年に定めた日本の名城100選です。現在は「続日本100名城」も選定されています。



公益財団法人
日本城郭協会 HP

私がお案内
します!



福岡銀行 添田支店
なかの みのる
中野 実 支店長

Profile 福岡県北九州市出身。1998年福岡銀行入行。門司支店を皮切りに箱崎、戸畑、総務広報部、宮崎、柳川支店で勤務。2017年バンコク駐在員事務所所長。2018年から大牟田、香椎支店の副支店長を務めたのち、2022年10月から現職。趣味で2019年11月から3年7カ月かけて「日本100名城」「続日本100名城」掲載の200城を踏破。公益財団法人 日本城郭協会から登城認定を受ける。

日本100名城
No.38



⑤



⑥

⑥

女城主の山城

岩村城

【住所】岐阜県恵那市岩村町城山
【電話】0573-43-3231

2020年2月登城。日本三大山城の一つ(ほかには備中松山城、高取城)。段々に連なる苔むした石垣と霧雨が風情を感じさせる(写真⑤)。織田信長の叔母が女城主であったが、武田方武將と結婚して...山城カードに収まりきれない歴史の営み(写真⑥)。



岩村城HP

日本100名城
No.40



③



④

ワッフルみたいな堀

山中城

【住所】静岡県三島市山中新田
【電話】055-985-2970

2020年2月登城、2024年11月再登城。箱根の山中にワッフル状の障子堀が築かれており、遠く富士山を望む風景(写真③)。富士山をぐるり回った4日間で印象に残った食べ物は、駄菓子屋での掛川おでん(写真④)。鶏ガラだしで独特の甘みがある串ざしスタイルは珍しい。



山中城HP

紅葉予想は難しい...

郡上八幡城

【住所】岐阜県郡上市八幡町
柳町一の平659
【電話】0575-67-1819



郡上八幡城HP



⑦

2022年7月登城、2024年11月再登城。1回目はあいにくの大雨で白亜の天守が輝きを出しきれず残念。城内に掲げられていたタペストリー(写真⑦)に描かれた「天守炎上」が見られる紅葉ライトアップ時期に2回目訪問したものの、紅葉が色づく直前であった(写真⑧)。

続日本100名城
No.141



⑧

※本ページの掲載内容は訪問当時のものです。
※「日本100名城」は公益財団法人 日本城郭協会が定めた呼称です。

二刀流 銀行員



FFGグループ行員の
趣味・特技を紹介するコーナー

池田 修平

「バイオリン奏者」



福岡中央銀行



バイオリン奏者の 顔を持つ銀行員

普段は銀行員として福岡中央銀行雑餉隈支店で働いている池田修平さん。週末はバイオリン奏者としての顔を持つ。池田さんとバイオリンとの出会いは意外にも遅く「大学でオーケストラ部に入ったのがきっかけです」と話す。

出身は果物の産地で知られる福岡県うきは市。自然豊かな環境で生まれ育ち、中学校はテニス部、高校は弓道部で、クラシック音楽とは無縁の学生生活を送っていた。

楽器を弾く楽しさに目覚めたのは高校生の時だった。「家にあった父のギターを見つけました。ほこりをおぼつてずっと使われていませんでした。が、試しに音を鳴らすと楽しくて。ネットもあり普及していない時代に、見様見真似で当時流行っていたロックの曲を弾いていました」

大学は福岡大学商学部へ進学。「今までと違うことがやってみたいい！」という思いから、大学オーケス



トラに入部した。

「福岡大学交響楽団は1969年に発足した福岡大学の学生を中心としたオーケストラです。多くの学部や学科から個性豊かなメンバーが集まります。当時の団員数は約50名で、高校で吹奏楽をしていた人が管楽器を受け持つパターンが多く、自分のような楽器初心者は少数派でした」

池田さんが選んだ楽器はバイオリンだった。「楽譜の勉強から始めて、ほぼ毎日バイオリンを弾いていました。家で練習するのは難しかったので、い

つも大学の施設で夜遅くまで練習していました」

努力の甲斐あって大学3年時には、オーケストラのコンサートマスター（指揮者と連携し、楽団員の代理や首席奏者として、演奏の進行を確認する役割）を務めるまでに成長した。

オーケストラ部では、毎年12月、「アクロス福岡 福岡シンフォニーホール」で定期演奏会を開催する。「普段は和気あいあいとした部ですが、演奏会前はみんなピリピリします（笑）演奏会終了後の満足感は何ものにも代えがたいですね」

も代えがたいですね」

池田さんはオーケストラの醍醐味について「他の人と音を合わせる掛けた算の良さがあります。同じパートの人と音がぴったり合わさったときは本当に楽しいです」と語る。

社会人になっても 広がり続ける音楽の輪

大学を卒業し、福岡中央銀行に入行後もバイオリンを続けた。「コロナ禍で演奏会がない時期が続きましたが、その間も練習は続けていました」

現在、特定のオーケストラには所属していないものの、市民オーケストラの「糸島フィルハーモニー管弦楽団」への賛助や、プロジェクトオーケストラ「紫苑フィルハーモニー管弦楽団」などの演奏会に参加している。最近ではオーケストラだけでなく、弦楽四重奏の依頼も増えてきた。

「弦楽四重奏アンサンブル コモド」に参加し、地域イベントで演奏しています。弦楽四重奏はイベントで呼ばれることが多く、活動範囲が広が



IKEDA Shuhei

1995年6月17日生まれ、現在29歳。福岡県うきは市出身。大学時代、福岡大学交響楽団に所属しバイオリンを担当。2018年、福岡中央銀行に入学し、久留米支店、大橋支店を経て、現在は雑餉隈支店に勤務する。総合営業を担当。銀行員になっても音楽活動を継続し、オーケストラや弦楽四重奏などでバイオリン演奏に励んでいる。

弦楽四重奏「アンサンブル コモド」。イベント演奏の様子。右端が池田さん



2024年11月、アクロス福岡 福岡シンフォニーホールで行われた「紫苑フィルハーモニー管弦楽団」演奏会

ます。イベントでは音楽に親しんでもらいやすいようポップスも演奏します。最近の曲は転調するものが多く、そもそも弦楽器用に作られていないので弾くのが難しいです」

演奏者として、弾いていて楽しい曲について尋ねると、「チャイコフスキーの花のワルツは弾くのも聴くのも好きです。演奏者あるあるですが、流行の曲を聴くよりも、次に演奏する曲をひたすら聴いていることが多いです(笑)」と笑顔で答える。

個人練習には、楽器練習可能な力

ラオケ店や、公共施設の練習室などを利用している。

社会人になってから、音楽への思いには変化があっただろうか。

「バイオリンを始めるまでは、クラシック音楽に対して眠くなる印象を持っていました。しかし、演奏するために作曲家や曲の背景を紐解いていくうちに、その印象はまったく変わりました。将来的には、クラシックに全く興味の無い人にも、その魅力を伝えるような弦楽四重奏イベントなどを企画していきたいですね」



福岡中央銀行 雑餉隈支店
住所／福岡市博多区竹丘町2丁目1-5



前列左2人目から池田さん、永田支店長



お客さまと会話する池田さん



洋上風力発電に関わる 人材育成の取り組み

特定非営利活動法人 長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

理事・訓練施設長 松尾 博志

1 本稿の概要

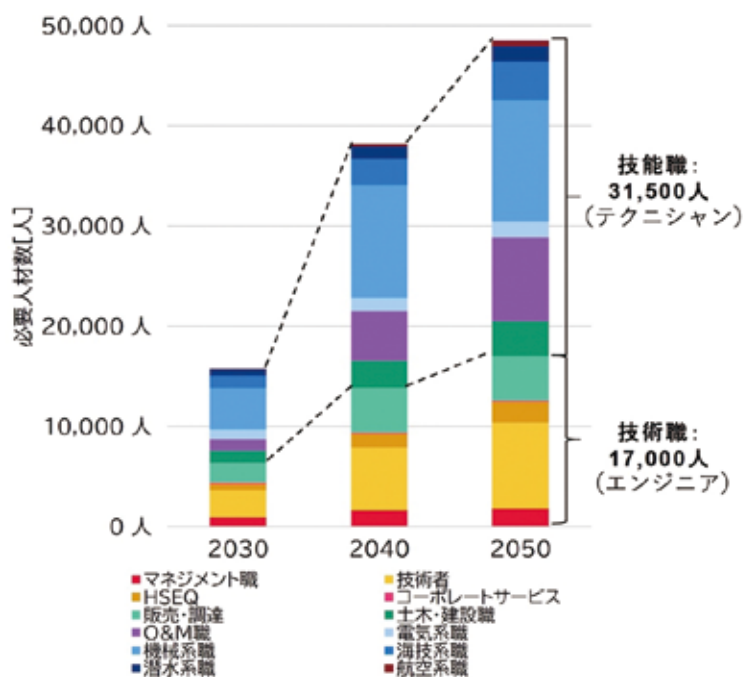
2020年10月、菅内閣総理大臣は、日本が2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。2050年のカーボンニュートラルの実現には、様々な施策が必要ですが、洋上風力発電はその中心的な役割を果たすことが期待されています。

世界で第6位の排他的経済水域を保有する日本には、洋上風力発電の高いポテンシャルがあり、日本政府は、2040年までに30GWから45GWの洋上風力発電の設置を目標にしています。

※1GWは100万kW、原発1基分に相当。30～45GWは原発30～45基に相当する設備容量。

一方で、日本は、これまで欧州の北海油田のような、海洋構造物の設計や運用の経験に乏しいという課題があり、その設計や運用を行う人材の育成が必要です。現在国内には、洋上風力発電に関わる技術者と技能者は合計で5千人程度と

図1：国内の洋上風力発電に必要な技術者（エンジニア）と技能者（テクニシャン）の人数



出典：日本風力発電協会



Profile

特定非営利活動法人
長崎海洋産業クラスター形成推進協議会
理事・訓練施設長 松尾 博志

長崎県長崎市出身。長崎県立長崎東高校卒業後、東京大学理科1類に進学、工学部船舶海洋工学科、及び大学院環境海洋工学専攻を修了。大学院卒業後は（株）野村総合研究所で10年間、経営コンサルタントとして、大手製造業の経営計画の策定などの業務を行った。2011年に東京で東日本大震災を経験し、福島原子力発電所の事故を見たことで、再生可能エネルギーの重要性が高まると考え、洋上風力発電や潮流発電等の海洋再生可能エネルギーの導入に向けて活動を行うために、震災の翌年の2012年に東京から地元長崎市にUターンして活動を開始した。現在はNPO法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会の理事、洋上風力技能者向け訓練施設の施設長、長崎海洋アカデミーの講師を務める。



考えられていますが、日本風力発電協会の推計では2030年には約1万6千人、2040年には約3万8千人、2050年には約4万9千人が必要とされています。

本稿では、洋上風力発電を支える技術者、技能者の育成を行う特定非営利活動法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会（以下、当会）の取り組みについて紹介します。

2 長崎海洋産業クラスター形成推進協議会の概要

当会は、2014年に長崎県内で、海洋再生可能エネルギーを含む新たな海洋産業に参入意欲のある民間企業群によって設立されたNPO法人であり、現在の正会員数は約100法人です。現在多数の事業を行っています。今回紹介する長崎海洋アカデミー及びNOA TRAININGの事業の他、環境省の実証事業である五島奈留瀬戸に

おける潮流発電事業や長崎市伊王島周辺の実海域での実証実験をサポートする実証フィールドセンターの運営などを行っています。実証フィールドセンターでは、地元の西彼南部漁業協同組合と当会で、海域を利用した実験に関する基本協定を結び、地元関係者への説明や調整を当会がサポートすることで、企業や研究機関の実海域での実験をスピーディに実現するよう支援を行っています。実海域で洋上機器や水中機器等の試験を行いたい場合は、是非お問合せください。

3 長崎海洋アカデミーが取り組む技術者の育成

長崎海洋アカデミー（正式名称：長崎海洋開発人材育成・フィールドセンター）は、今後急成長が見込まれている洋上風力発電を含む海洋再生可能エネルギーの開発の分野における海洋開発人材の育成の場として、日本財団や長崎県の支援

を受け2020年10月に開講しました。全国の洋上風力発電の開発に関わる企業を中心とした受講者の方々へ、長崎大学キャンパス内にて研修の提供を開始しました。洋上風力発電は、今後10年程度の間に急速な発展が見込まれています。一方で、欧州における北海油田のような沖合の技術開発経験の少ない日本では、海洋開発を行う専門人材の数が不足しています。現在、海洋開発を行う技術者は国内に3千人程度ですが、国の目標である2040年30GW、45GWの洋上風力発電を実現するためには、日本風力発電協会の推計では1万4千人ほどの技術者が必要と考えられています。

国土が狭く、四方を海に囲まれた日本にとって洋上風力産業には大きな可能性が期待されており、その海のポテンシャルを最大限に活かす、二酸化炭素の排出を減らしていくために、海洋をうまく活用するための専門知識を備えた人材の育

図2：技術者を育成する長崎海洋アカデミー



出典：長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

成が求められています。長崎海洋アカデミーでは、コースを年間20回程度開催し、年間200数十名の方が受講しています。教育のコンテンツは、洋上風力発電産業の歴史が長く、人材教育も活発な欧州のノウハウを導入し、日本の企業の方々に提供しています。

一方、入札制度や海域の利用に関わる法律については国によってルールが異なるため、その分野につ



表1:長崎海洋アカデミーの研修内容

	コース	期間	内容
1	半日・入門	半日	初めて学ぶ方を対象とした内容。
2	総論	2日間	俯瞰的に幅広く洋上風力を学ぶ。
3	事業開発		プロジェクト管理、業務遂行知識を学ぶ。
4	ウインドファーム認証と保険		認証、保険、ファイナンスを学ぶ。
5	浮体式洋上風力発電		日本で有望は浮体式を詳しく学ぶ。
6	風況観測・解析		発電力の推計に必要な風況解析を学ぶ。
7	洋上施工		洋上での施工方法、船舶、機材を学ぶ。
8	EPCプロジェクトマネジメント		建設工事管理をグループワーク中心で学ぶ。
9	洋上風力のHSE		安全管理、規則等について学ぶ。
10	送電システム		海底ケーブル、送電システムの設計、施工、保守。
11	五島オンサイト	1日間	五島市の浮体式風車の見学等。

いては当会と日本海事協会や国内のコンサルティング会社、金融会社等と協力し、日本独自のコンテンツを準備し、研修を提供しています。

図3:洋上風力の技能者を育成するNOA TRAINING



出典:長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

4 NOA TRAININGが 取り組む技能者の育成

これから実際の洋上風力発電所の建設や運転保守が始まり、洋上の現場での仕事を行う技能者が必要となります。現在、国内には洋上風力発電に関わる技能者が2千人いると考えられていますが、日本風力発電協会の推計では、2030年に約9千人、2040年に約2万

4千人の技能者が必要と考えられています。当会は、日本財団の全面的な支援を受け、2024年11月に洋上風力の技能者を訓練、育成するための施設であるNOA TRAININGを、長崎市伊王島に開講しました。

洋上での作業の安全を考える上で、私たちが忘れてはならないのは、1988年に北海油田の大規模な火災事故です。パイパー・アルファという石油生産プラットフォームで大規模な爆発、火災が発生し、167

名もの尊い命が奪われました。事故の原因分析からは、多くの教訓が得られ、特に石油・ガス産業における安全対策の大幅な見直しが行われました。主な事故の原因は、作業許可手続きの不備、緊急対応システムの問題、安全文化の欠如でした。

企業のシステムとして、作業手順書の整備と運用の徹底、緊急対応システムの定期的な点検が必要であると同時に、現場で働く人たちの訓練を通じた安全文化の醸成が必要

という認識がなされるようになりました。そのため、安全文化を構築し、従業員が安全を最優先に考え行動できることができるようにすることが重要と結論付けられ、石油業界主導で共通のトレーニング基準と安全規制を策定し、労働者の安全と技術向上を確保することを目的とするOffshore Petroleum Industry Training Organization（以下、OPITO）が設立されました。

OPITOは、安全性や技能の向上を目指し、業界全体のトレーニング標準を策定し、認定機関として機能しています。現在は世界中でOPITO認定のトレーニングが行われており、石油およびガス業界の労働者にとって標準的な資格となっています。

洋上風力発電は、日本ではまだ黎明期であり、実際に運転を行っている風力発電所は北海道石狩湾新港、秋田港、能代港等、数箇所に限られます。このような状況でも、



図4：GWO安全トレーニング



出典：長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

これまでに洋上での事故は発生しており、対策が必要です。例えば、実証実験ですが、福島県沖の浮体式洋上風力発電では、アクセス船から風車に乗り移る際に作業員の足が船と風車の間に挟まり骨折する事故が2018年に発生しています。また、秋田県能代港の洋上風力発電所では、アクセス船を減速させながら風車にアプローチすべきところを、アクセス船の操船者が操縦を誤り加速しながら風車に衝突するという事故も発生しています。このように、石油ガス産業に限らず、洋上風力発電産業においても、作業の現場は危険を伴うものです。石油ガス業界がOPIITOを設立し、安全訓練基準を策定したのと同様に、洋上風力発電業界においても民間主導によりデンマークを本部にしたGlobal Wind Organization（以下GWO）が2012年に設立されました。風力発電業界の主要な事業者（風力タービンメーカーや、発電事業者など）が協力し、世界中

の風力発電に従事する人々が同じ標準に基づいたトレーニングを受けることにより、安全な作業環境を実現することを目的としてGWOを設立し、国際的に認められた安全トレーニングの基準を策定しています。加えて、風力タービンの設置やメンテナンスに必要な技術的スキルの基礎を学ぶ基本技能訓練（機械、電気、油圧、ボルト締結など）も策定しています。

現在、GWO認定の訓練施設は、世界中で500箇所以上運営されています。英国には50箇所以上の訓練施設が運営されています。一方、日本ではGWO認定の訓練所は10箇所程度と限られており、海難訓練を行うためのプール等の施設を併設して洋上訓練も実施できる訓練所は5箇所程度にとどまります。前述の通り、2030年までには約9千人の技能者が必要になるため、より多くの受講者を受け入れるために日本財団は当会を助成し、NOA TRAININGが設立されま



表2:NOA TRAININGが提供する訓練

2024年11月開講		
訓練名		内容
基本安全訓練	シーサバイバル	船から風車への乗移り、落水時の対応等。
基本安全訓練	高所作業	ハシゴの昇降、高所からの退避、救助等。
基本安全訓練	応急処置	傷病者への迅速な対応等。
基本安全訓練	防火消火	防火施設の理解、消火行動、退避行動等。
基本安全訓練	マニュアルハンドリング	重量物の搬送に関わるリスク評価と対応等。
アドバンスド・レスキュー訓練		傷病者の救助、担架への固定、上げ下ろし等。
エンハンスド・ファーストエイド訓練		傷病者への迅速な対応、専用器具の使用等。
2026年3月開講 予定		
訓練名		内容
基本技能訓練		電気・機械・油圧・ボルト締結・据え付け。
スリンガリングナラー		玉掛手合図。

した。NOA TRAININGでは、表2のように洋上風力の現場で働く技能者の安全に関わる訓練を2024年の11月から提供し、年間1千人の技能者の育成に向けて取り組んでいます。

NOA TRAININGには6名

のインストラクターが在籍しています。元海上自衛隊のヘリコプターパイロット出身で、防衛省の海将補を務めたインストラクターや、長年救急救助の現場で活躍してきた救急救命士、元海上保安官、造船技術者など、それぞれが高い専門性を有しており、専門性を活かした訓練を提供しています。2025年度には、新たに「技能訓練棟」を建設し、電気・機械・油圧・ボルト締結・据付に関する技能的な訓練の提供を開始します。

また、2026年度には、実際の洋上風力の現場と同じ環境で訓練を実施するための洋上タワーを長崎市高島沖に建設し、実際のアクセス船も建造した上で、洋上での風車への乗移りの訓練や、動揺するアクセス船からタワーへ安全に荷物を上げ下ろしする訓練など、より実践的な訓練を提供する予定です。図5に示す洋上タワーは、技能者の育成のために建設するものですが、場所は前述の実証フィールドセン

図5:2026年度に完成予定の訓練用の洋上タワーとアクセス船



出典:長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

ター内にあるため、アクセス船や水中機器等の研究開発や実験にも活用していきたいと考えています。

5 今後の展望

ここまで、洋上風力発電に関わるリスクと、安全訓練の必要性について述べましたが、先行する欧州では着実に成果を上げています。欧州の洋上風力業界での事故件数は、毎年着実に減少しています。また、

2016年以降、死者は一人も出していない。一般的に危険度が高いと認識されている洋上の作業ですが、訓練を通じた個々のスキルの向上と安全文化の醸成に取り組むことで、事故は減らせることが実証されていると考えています。日本においても、質の高い訓練を提供していくことで、洋上風力発電産業における事故の低減に貢献していきたいと考えています。

今後はさらに高度な工学的な知識を持ち、洋上風車のトラブルシューティングや、故障予知、点検業務、ROV(Remotely Operated Vehicle、遠隔操作で動く水中ロボット)の操作や管理等に精通する高度技能者の育成や技術支援が必要だと考えています。

洋上風力発電をはじめとする海洋産業における人材育成を通じて、日本の2050年のカーボンニュートラル社会の実現に貢献できるよう、今後も当会一丸となり取り組んでいきます。

2025年版九州経済白書説明会

事業承継から描く九州の未来

～適切な新陳代謝による生産性革命への挑戦～

今回の九州経済白書のテーマは「事業承継」です。人口減少や高齢化の進行で域内市場が縮小する中、後継者不足により、黒字企業でも次世代に継がれず廃業する事例が増加しています。一方、新規創業は地域経済を活性化させますが、業種の偏りが課題です。既存企業の承継が地域の安定と成長に重要であり、九州企業の事業承継やM&Aの現状を分析しています。また事業承継の成功事例や支援機関への取材を通して、九州地域が「大廃業時代」を乗り越え、生産性向上と持続的な成長を実現する道筋を探ります。

参加無料



総論

1. 九州地域における事業承継の現状と企業組織の変化
2. 事業承継・M&Aの従業員の評価とエンゲージメントへの影響
3. 事業承継を契機に描く新たな成長戦略
4. 事業組織構造のリデザインと生産性革命に向けて

各論

- | | |
|--------|---------------|
| 1章 農業 | 3章 製造業 |
| 2章 建設業 | 4章 地域密着のサービス業 |

※説明会当日は、2025年版九州経済白書を会場特別価格2,500円(通常価格3,300円)税込にて販売します。

地区	日時	会場・住所	主催・共催・後援	申込締切	定員	説明者	申込先
福岡	2月7日(金) 13:30～15:00	FFGホール 福岡市中央区天神 2丁目13-1 福岡銀行本店地下	ふくおかフィナンシャルグループ 福岡銀行 福岡商工会議所 九州経済調査協会	2月6日(木) 13:00	300名	調査研究部 主任研究員 松尾 厚	 福岡会場
北九州	3月5日(水) 13:30～15:00	FFG北九州本社ビル 6F講堂 北九州市小倉北区 堺町2丁目2-18	ふくおかフィナンシャルグループ 福岡銀行 北九州商工会議所 九州経済調査協会	3月4日(火) 13:00	100名		 北九州会場
長崎	2月13日(木) 13:30～15:00	十八親和銀行本店 10F講堂 長崎市銅座町1-11	ふくおかフィナンシャルグループ 十八親和銀行 長崎経済研究所 九州経済調査協会 【後援】長崎経済同友会	2月12日(水) 13:00	100名		 長崎会場
佐世保	2月20日(木) 13:30～15:00	FFG佐世保ビル 4Fセミナールーム 佐世保市三浦町1-26	ふくおかフィナンシャルグループ 十八親和銀行 佐世保商工会議所 九州経済調査協会 【後援】長崎経済同友会	2月19日(水) 13:00	50名		 佐世保会場

※聴講は無料です。

参加をご希望のお客さまは、上記各会場の申込先QRコードからお申し込みください。

【お問い合わせ】(公財)九州経済調査協会 総務企画部 担当: 牟田・加峯

TEL.092-721-4909 E-mail: hakusho@kerc.or.jp

九州経済白書 検索

冬季企画展 Juhachi-Shinwa Art Gallery Winter Exhibition

紙と表現

開催中

2024.12.13(金) → 2025.3.8(土)



田川 憲《長崎の谷》1966年制作 木版・紙

当館の絵画コレクションは油彩画が中心ですが、その中にはドローイング、水彩画、版画など紙に表現された作品も複数、含まれています。現在、開催中の冬季企画展では、棟方志功の肉筆画、山下清の貼り絵、郷土ゆかりの旭達文の版画、北村綱義のパステル画などを公開しています。

その内の1点、田川憲の木版画《長崎の谷》は、横長の画面に高台から望む景色が広がっています。草木が茂る中に連なる家並みと、その合間を縫うように延びる道路は中景の市街地へ吸い込まれていくようです。黒く太い線で強調された山肌と斜面、谷間に密集する住宅地の姿は、灰色の版と余白の白によって陰影と奥行きが明確になり、画面に広がる光景を印象深いものにしています。また、本作の左下に彫られている「NAGASAKI'66 (Esquisse'56)」は、下絵を描いたのが1956年、版画として制作したのが1966年であることを示しています。時代とともに変わりゆく長崎の姿を版画に遺した田川憲の眼差しが感じられる作品です。

陶磁器展示室2では、陶磁器小企画「煌めく釉薬」を2025年3月1日(土)まで開催しているほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

田川 憲(たがわ・けん):1906~1967。長崎市生まれ。高校卒業後に洋画家を志して上京、恩地孝四郎に出会い創作版画に転向。1933年に帰郷し「詩と版画の会」を結成、版画誌刊行や講習会開催など長崎での創作版画の普及に尽力。戦時中は従軍画家として中国へ渡り、戦後は再び長崎を拠点に洋館や唐寺などが残る長崎の風景を数多く描き残した。2018年長崎県美術館にて回顧展開催。

十八親和アートギャラリー

鑑賞 無料

【開館時間】10:00~16:00(入館は15:30まで)

【休 館 日】日・月・祝日、年末年始(12/30~1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分